

ポコ・ア・ポコ NO.281

2025年2月発行
川口自主夜間中学
<https://Kawaguchi-night-school.com>

題名はスペイン語 一歩ずつという意味

【共生社会に向けてできること】

スタッフ K・O

私が日本にいる外国人について関心を持つようになったのは、大学のソフォモアゼミで外国人労働者や技能実習制度について学んだことがきっかけだった。それまで彼らの生活や労働環境について深く考えたことはなかった。ゼミでは特に技能実習生の問題を扱い、その現状を詳しく学んだ。

技能実習制度は、本来「日本で学んだ技術を母国で技術移転をする」という目的で運用されるものである。しかし、実際にはその理念とかけ離れた形で運用されている事例が多くある。先進国である日本がこのような制度を運用していることに驚き、外国人労働者の問題に対する意識が高まった。

また、3年次のフィールドワークで群馬県大泉町を訪問し外国にルーツを持つ子どもたちの教育の問題や地域社会との関係について学んだ。言語の壁や文化の違いにより学校に馴染めない子どもたちや、進学のお機が限られている現状を目の当たりにし、日本社会の課題を実感した。

日本は少子高齢社会を迎え、外国人との共生が重要になっている。一方で、地域住民と外国人の間に軋轢が生じ、ヘイトスピーチや差別といった問題も発生している。互いに安心して暮らせる社会を実現するためには、歩み寄る努力が不可欠だ。日本人は外国人の文化を理解し、外国人も日本のルールを尊重することが求められる。

現在、私は公務員を目指して勉強している。公務員として働くことができれば、外国人住民が地域社会から取り残されないまちづくりに貢献したい。外国人と日本人が理解し合い、共生できる環境を整えることなどに取り組みたい。ゼミやフィールドワークでの学びを生かし、多文化共生社会の実現に携わっていきたくて考えている。

注) ソフォモアゼミ…2年次に受けていたゼミ名